

(5) コンクリート二次製品

ヒューム管

記事提供：全国ヒューム管協会北陸支部

新潟・富山、2県の出荷状況

令和7年度10月～12月期の出荷量は、新潟県は前年比200t減で700t、富山県は前年比100t増の700t、2県の出荷量合計は1,400tで前年同期比7%減となった。

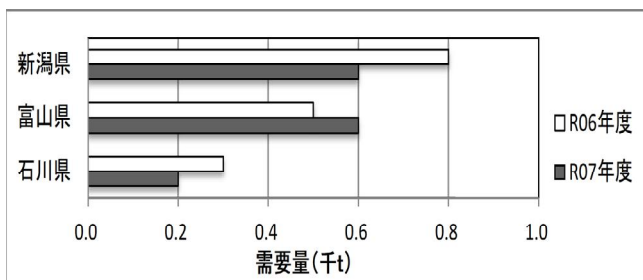
また、令和7年度累計では、新潟県は前年比増減なしの2,000t、富山県は前年比400t増で2,300t、2県の累計出荷量合計は、4,300tで前年比10%増となった。

新潟・富山・石川、3県の需要動向

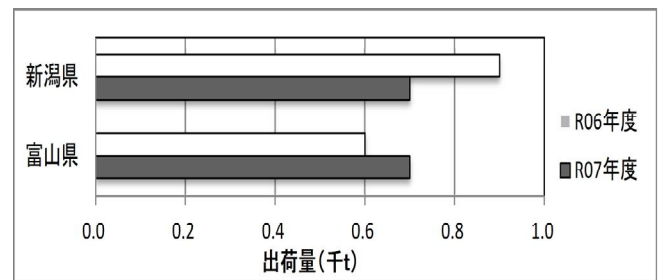
令和7年度10月～12月期の3県需要の合計は、1,400tで前年同期比13%減(200t減)となっている。県別では、新潟県が25%減(200t減)、富山県が20%増(100t増)、石川県が33%減(100t減)であった。

尚、令和7年度累計需要合計は、新潟県が9%減(200t減)、富山県が38%増(500t増)、石川県が29%減(200t減)となり、北陸3県全体で4,300t(100t増)で前年同期比の102%となった。

ヒューム管需要量の推移(10月～12月期)



ヒューム管出荷量の推移(10月～12月期)



(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和6年度 年 計	令和7年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	▲34	▲25	33	▲25	▲100	▲9
	2.5	0.6	0.8	0.6	0.0	2.0
富山県	▲25	67	40	20	▲100	38
	1.5	0.5	0.7	0.6	0.0	1.8
石川県	60	0	▲33	▲33	▲100	▲29
	0.8	0.1	0.2	0.2	0.0	0.5
3県 計	▲24	0	21	▲13	▲100	2
	4.8	1.2	1.7	1.4	0.0	4.3

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員3社のうち3社

(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和6年度 年 計	令和7年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	▲23	▲20	50	▲22	▲100	0
	2.3	0.4	0.9	0.7	0.0	2.0
富山県	▲28	14	33	17	▲100	21
	2.3	0.8	0.8	0.7	0.0	2.3
2県 計	▲26	0	42	▲7	▲100	10
	4.6	1.2	1.7	1.4	0.0	4.3

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員3社のうち3社
・石川県には、工場無し
・新潟県・富山県の在籍工場分を集計